

# 業務用ネギの多収穫はサイズアップが鍵！

業務用のネギは価格が安いものが求められることから輸入量が急増し、県内産を圧迫しています。そこで、輸入ネギに対抗するため、業務用ネギの多収生産技術を開発しました。

増収技術のポイントは、①品種は肥大性に優れる「龍翔」を使う、②平床に植える、③苗の植え付け間隔を工夫する、④栽培期間を長くするなどにより、2L以上の規格を多くすることです。開発した多収技術により、10a当たりの総収量は7.0~8.5t（慣行栽培の約2倍）を得ることが可能となりました。規模拡大を目指す経営体のメニューとして期待されます。

## 業務用ネギの多収安定生産技術体系



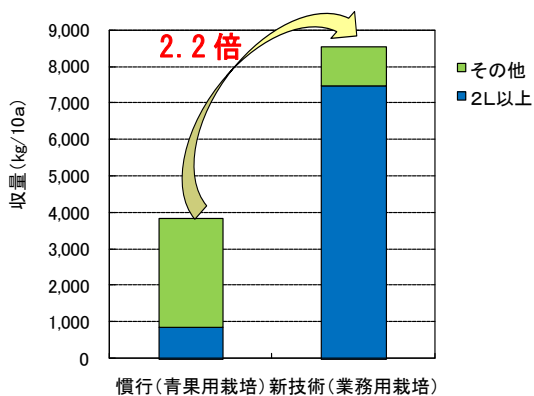
地床育苗（3～7月） → 平床移植機で定植（6～7月） 畝間 80cm、株間 5cm、深さ 10cm



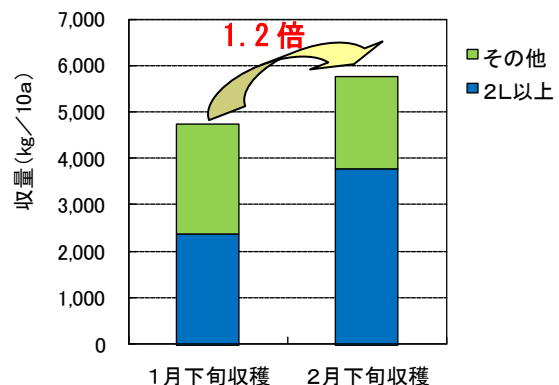
栽培管理（6～11月） → 収穫期（火山灰土壌：11～12月、沖積土壌：11～3月）

### 増収のポイント

- ・品種は肥大性に優れる「龍翔」が適しています。
- ・平床に密に植え、植付け本数を増やします。
- ・栽培期間を長くし、2L以上の規格を増やします。



植え方を工夫すると増収します  
（株間 5cm、畝間 80cm、平床植え）



栽培期間を長くすると増収します  
（沖積土壌では冬期も生長し、2L以上の大型サイズの割合が増えます）